

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SMASPO川西校		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2025年1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に寄り添った支援の提供	どの利用時においても支援に対応し、専門的支援計画を作成しさらに丁寧な提供を行っている。	引き続き、継続していく。
2	就学を見据えた、さまざまな運動科学に基づいた支援の提供	利用者が楽しく取り組むことができるように、さまざまな工夫を行うことで支援に繋げている。	職員間が情報共有を行うことで、工夫された支援を提供することができるように努めていく。
3	さまざまな研修へ参加	日々の支援、業務に取り組む中に活かすことに繋げることができるように、さまざまな研修に参加することを行っていく。	研修で得たものを実践に繋げることができることを想定し、さらに必要な知識、スキルを取得することに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での行事へに利用者以外の地域住民を招待する等を実施することが行っていない。	利用者に向けてのイベントのみを事業所で開催していたため。	現在、事業所内に地域の方々を招待してのスペースを確保することが困難であると考えられるため、事業所側が地域の行事などに参加することで理解していただくことを検討していく。
2	きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行うことができていない。	開催しているイベントには家族で参加していただいておりますが、きょうだい同士での交流していただくことはできていない。	家族でのイベントへの参加の中で、きょうだい同士での交流に繋げることができるように工夫を検討していく。
3	地域の児童発達支援センターなどと連携を実施することで多くできていない。	児童発達支援センターなどと連携を実施する機会を設けることが困難であった。	地域の児童発達支援センターなどと連携を図ることができる機会を検討していく。